

令和元年度 学校評価結果 概要

★全体として

ほとんどの項目で4点満点中3点以上（「よくあてはまる」～「だいたいあてはまる」）の評価でした。なお、今年度、本校の重点取組項目の一部変更により、質問内容の見直しをしたため、過去の結果との経年比較は行っていません。

★改善の方向性（評価が2点台だったもの）

○自己肯定感や他者理解

- ・「子どもは自分の良さに気づいている」（評価:2.92）
- ・「子どもは友だちの頑張りなどの話をよくする」（評価:2.92）

→児童アンケートでは、多くの児童が「自分や友達のよさに気づき、学級や学校をよりよくしようと努力している」と回答しており、学級通信等を活用し、児童のよさやがんばりを保護者へ伝えていきます。

○読書習慣

- ・「子どもは家で読書をしている」（評価:2.00）

→児童アンケートでは多くの児童が「読書は好き」と回答しており、読書環境のさらなる整備と読書機会の充実に合わせ、図書委員会等、児童の主体的な活動を活性化させていきます。

○戸外での遊び

- ・「子どもは、帰宅後や休日に外で友だちと遊んでいる」（評価:2.54）

→子どもの外遊びの減少は全国的なものであり、学校では「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動の展開に引き続き取り組んでいきます。